

SDSN Japan 本格稼働

SDSN Japan 理事会議長
浜中 裕徳



SDSN Japanは、市民団体、企業、研究者、地方公共団体などのステークホルダーの緊密な連携を図り、持続可能な社会の実現を目指す行動型ネットワークとして昨年7月に発足しました。

昨年9月には、国連総会において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されましたが、我々SDSN Japanはこのアジェンダの中核をなす「持続可能な開発のための目標」(SDGs)の達成に向け、本格的な活動を開始しています。

また本年5月には我が国においてG7サミットが開催されますが、我々SDSN Japanとしては、このG7サミットプロセスに貢献すべく、SDGsの達成に向けた取組みの推進についての提言をとりまとめしていくこととしています。さらにアジア太平洋地域のSDSN参画ネットワークとも連携して、本地域が直面する共通の課題に対し、共同して解決を図れるような国際協力の道筋を立てていく方針です。

これら活動の成果は、本年7月ニューヨークにて開催される「ハイ

レベル政治フォーラム」(HLPF)の議論の場に反映するなど我が国における先進的な取組みを世界に向けて発信していく所存です。

このような諸活動の実施にあたっては、関係者の皆様のご協力が不可欠です。皆様方とともに持続可能な社会の実現に向け着実な歩みを積み重ねていきたいと思っていますので、皆様のご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

ジェフリー・サックス教授からのメッセージ

コロンビア大学地球研究所所長 / SDSN ディレクター



初回リオ地球サミットから20年たった今も、世界は依然として貧困や不平等、環境災害や様々な危機を解決しえずにいる。日本における問題は、将来的に世界各地が直面する問題といえる。ぜひ、より良い世界の実現に向け、そして「持続可能な開発の時代」に向けて、協力し、行動を起こしてほしい。十分な技術力を持ち、また高い責任感を持ったリーダーを多く輩出してきた日本社会が大きな役割を果たすことを期待している。

SDSN Japan活動実績(2015年12月時点)

7月28日:「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム(ISAP)2015」にて正式発足

11月15日:「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」共催

11月21日:「International symposium on sustainability science」共催

SDGsの実施にかかる地域ワークショップをそれぞれ北九州(10月22日)、長崎(11月5日)、京都(11月21日)、金沢(11月26日)で共催

12月7日:シンポジウム「持続可能な開発目標(SDGs)とパートナーシップ～これからの企業CSRにおけるグローバルアジェンダ～」共催

12月15日:オーストラリアにおけるSDGs実施にかかるワークショップ開催

今後の活動予定

1月15日:

シンポジウム「2030年持続可能な発展目標:日本と世界の変革へ向けて」共催(於:国連大学)

2月29日-3月1日:

マレーシアにおけるSDGs実施にかかるワークショップ開催(於:クアラルンプール)

4月16日:

SDSN Japan SDGsの実施に関する特別シンポジウム(tbc)

SDSN Japanの活動目的

1. SDGsを始めとするサステナビリティの課題への取組
2. 多様なステークホルダーとの協働のためのプラットフォーム構築
3. 国連機構や国際機関の関係者、各国・各地域ネットワークとの連携による国際動向のフォロー、および日本の成果の国際発信